

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「モーニングバランス」
  - 2) 「TAP プロジェクト」
- 

1) 「モーニングバランス」

山崎製パンが 2009 年 4 月に売り出した特定保健用食品（特保）の表示許可を得た食パン。欧米でデザートなどに使用されているでんぷん質の難消化性再結晶アミロースを含んでいて、体内で消化吸収されにくく、通常の食パンに比べて食後の血糖値の上昇を穏やかにする効果がある。

通常のパンと同量を食べた場合、食後 2 時間の血糖値の上昇を約 15%抑えることができることが確認されており、糖尿病患者やその予備軍を販売ターゲットとしている。

パン生地への難消化性再結晶アミロースの配合の仕方、発酵を助ける成分の組み合わせ方、焼成方法などについて工夫するために完成までに約 2 年間かかったそうだ。コンビニやスーパーで売られる特保商品のカテゴリーが増えてきている。

---

2) 「TAP プロジェクト」

日本ユニセフ協会と広告代理店の博報堂が提起したプロジェクトで、飲食店で通常は無料で提供される飲料水やお茶に、100 円以上の募金をよびかけるもの。

正式には「TAP TOKYO きれいな水を、世界の子どもに」プロジェクト。

TAP は「水道の蛇口、給水栓」を意味している。

東京都や近郊のレストランなどで、国連が制定した「世界水の日」（3月22日）にちなんで、2009年3月20から22日に実施され、今後毎年行うことにしている。

アメリカのニューヨークで2007年に始まり、日本では初めてである。

日本ユニセフ協会によると、世界では5歳未満の子供の5人に1人が清潔で安全な水を使えず、衛生環境などが原因で1日に4000人もの子供が命を失っている。

100円で1人の子供が40日間、きれいな水を飲めるようになるので、協力するレストランやカフェのテーブルに活動の趣旨を記したカードを用意し、利用客は水やお茶に対して任意で100円以上を置いていくというもの。

ファーストフード店など店舗数の多い企業の参加があると今後も広まっていきそうだ。